

## 2019年度 MBA 鈴木ゼミ シラバス

- 目的① 組織行動論、組織論、経営管理論の考え方について理解をすること
- 目的② 論文作成の基本的知識（方法論や論文の考え方など）を修得すること
- 目的③ MBA 論文のリサーチプロポーザルを作成すること

演習では専門職学位論文の論文指導を行います。組織行動論、経営組織論、経営管理論、人的資源管理論、キャリア論といった組織における人に関わる領域に関するテーマを扱います。組織の中の「人」に焦点をおいたテーマを扱います。ただし人に焦点を当てるものの、常に組織（企業や職場）と個人、組織（企業や職場）の中の個人といった関係の中から検討をします。また専門職学位論文の作成を通じて、具体的な経営現象を科学的に把握、分析、検討するスキルを身につけることも目指します。

学位論文はゼミで言われたことをすれば完成するものではありません。ゼミでのコメントや議論を踏まえて、自分でマネジメントする意識を常にもってください。

### ゼミの考え方

良いリサーチコミュニティ（ゼミ）から良い研究は生まれますし、良い研究を個々人が志さなければ良いリサーチコミュニティ（ゼミ）は成り立ちません。自分の研究だけに興味を持つのではなく、他のメンバーの研究にも強い興味をもってほしいと思います。良いアイデアは必ず活発な議論の場から生まれます。ゼミは共通の興味をもった人々の集団です。ぜひゼミ中、オフライン、オンラインで活発な議論をしましょう。

今期は秋から冬にかけてゼミのない期間が長くあります。ゼミとゼミの間の時間でも論文を少しずつでも進めるようにしてください。IT ツールなどを使ってオンラインで議論ができればと思っています。

### 事前課題について（※重要）

事前課題をこなしていれば良いと思わないようにしてください。事前課題はあくまで研究を進める思考を手助けするためのものです。受動的ではなく、それぞれの事前課題フォーマットを足がかりに自分の研究を考える、進めるという

姿勢で行なってください。

必読書籍（購入して読み進めていってください）

リサーチの考え方に関する書籍

Reading1 ウェイン・C・ブース他「リサーチの技法」ソシム（2018年）

Reading2 須田敏子「マネジメント研究への招待」中央経済社（2019年）

経営組織論・組織行動に関する書籍

鈴木竜太・服部泰宏「組織行動」有斐閣（2019年）

鈴木竜太「経営組織論」東洋経済新報社（2018年）

そのほか参考文献（こちらはよりしっかり学びたい人用です）

浦上昌則・脇田貴文「心理学・社会科学研究のための 調査系論文の読み方」東京書籍（2008年）

佐藤健二「現代社会学ライブラリー18 論文の書き方」弘文堂（2014年）

## スケジュール

### 【Day 1 (Session 1-5: 9/21) イントロダクションとポスターセッション】

最初のセッションでは、自己紹介をかねて研究テーマを話してもらいます。その後、研究の始め方について議論をします。午後はポスターセッションへの参加となります。

#### 【事前課題】

リーディング課題を読んだ上で、Appendix#1 のフォーマットに沿って研究テーマを説明できるようにまとめ、人数分（17人分）コピーしてきてください。当日の話す時間は5分以内です。コンパクトに。（A4 1枚で用意 \*口頭で説明することも含め、資料は簡潔に作成すること）

#### 【リーディング課題】

Reading1 ウェイン・C・ブース他「リサーチの技法」ソシム（2018年）のパート I

## Day1 から Day2 の間

この時期は研究動機や大まかな研究テーマからよりフォーカスを絞っていく時期になります。またその際にどういう切り口が有効かということを考えていきます。Reading1-2 を読みそのステップを理解するとともに、経営組織論や組織行動論のテキストなどから切り口のアイデアを考えて Day2 の課題に取り組んでください。

### 【Day 2 (Session 6-10: 10/26) 研究テーマの洗練

2回目のセッションでは、よりフォーカスを絞った研究テーマ（リサーチクエスト）について考えます。問いは研究において最も大事なパーツの1つです。良い問いができれば研究の半分はクリアです。このセッションでは、進捗について簡単に話してもらった後、研究テーマから問いへと進めるための問いの考え方について話します。

#### 【事前課題】

リーディング課題を読んだ上で、Appendix#2 のフォーマットに沿って研究テーマを説明できるようにまとめ、人数分（17人分）コピーしてきてください。おおよそ A4 表裏 1枚でまとめ、人数分コピーしてきてください。

### 【リーディング課題】

#### Reading1 「リサーチの技法」のパートII

Day2 から Day3 の間

この時期は、研究テーマから研究課題へと絞っていく段階です。その中で研究計画を徐々に立てていきます。今期はこの間がおよそ3ヶ月あります。次の2つの点を進めながら Day3 の事前課題を考えていってください。

- ①研究テーマの対象の情報を集め、新たな情報から考える（パイロット調査）
- ②切り口として有効なコンセプトやフレームワークを探す（文献渉猟）

### 【Day 3 (Session 11-15: 2/1)】 研究計画の策定と研究方法

各自この頃には研究テーマが決まってほしいと考えています。その上で、実際の研究が 2020 年度からスタートすると考えてください。2019 年度最後の2回はリサーチプロポーザルを完成させることを目指します。これまでのセッションを振り返りながら、リサーチプロポーザルを作成してください。

このセッションの後半では、方法論についてレクチャーをします。

### 【事前課題】

Appendix#3 をもとにリサーチプロポーザルを作成してください。このプロポーザルをもとに議論をしますので、適当に書かず、進捗を含めしっかりと考えた上で書くようにしてください。

### 【リーディング課題】

#### Reading2 「マネジメント研究への招待」

### 【Day 4 (Session 16-20: 3/7)】

今年度最後のゼミでは、リサーチプロポーザルの完成を目指します。ここでリサーチプロポーザルを完成させるのが今年度の目標となります。Day3 での議論を元に、リサーチプロポーザルの完成版を目指してください。このゼミ以降はこのリサーチプロポーザルをもとに研究を進めていくことになります。

### 【事前課題】

Appendix#3 のフォーマットをもとにしてリサーチプロポーザルを作成、ブラッシュアップしてください。(Appendix#3 を見て、ブラッシュアップの方向を

間違わないように)

Appendix（詳細はまたゼミで話します）

#1: Day1 の事前課題フォーマット

①研究テーマ

「〇〇に関する研究」といった形でテーマをさっと理解できるように記述する

②研究動機

（考えるポイント）どうしてその研究テーマに関心があるのか、それは自社の具体的な課題にどう繋がっていて、どうしてそのテーマが大事か

③審査員以外の読者（建議書の相手・実行者）は誰か

（考えるポイント）特定の職場のイシューではなく、部や事業部、社全体に関わるイシューを選ぶように。職場や個人レベルでもそのことが部や事業部、組織全体の職場や個人をターゲットにしているのであれば OK です。そのことを意識して建議書の相手を考えてください。

#2: Day2 の事前課題フォーマット

①研究テーマ

#1 と同様に何の研究をしたいのか再度考えてみてください

②研究動機・関心

#1 と同様に再度記述してみてください

③研究上の問い（疑問形で書くこと）

（考えるポイント）自分が修士論文で取り組む研究課題を書いてください。その際に、②において触れた具体的課題が、なぜその課題が簡単に解けないのかを考え、その上で研究課題の不思議さ（なぜその課題が簡単に解けない課題なのか）について考えるようにしてください

④問いの仮の答え

③の答えとしてどのようなものが考えられるか、書いてみてください。その際に③の問いと対応するように考えるようにしてください。仮の答えなので合っているかどうかは問題ではなく、答えるとすれば例えばこんな感じの答えかな。という程度で OK です。

⑤Day3 までの簡単な計画

Day3 まではテーマ P なども佳境に入り忙しいと思いますが、その中でどのような書籍に目を通すか、どのようにブラッシュアップのための情報を集まるかなど、自分なりの予定を考えてください。

#3: Day3/4 の事前課題 (Day3 および 4 と書かれているのは Day3 および 4 において意識する点です)

#### ①研究テーマ

これまで通り「〇〇に関する研究」というテーマを記した上で、下記の点について記述してください

- ・ どうしてその研究テーマに関心があるのか？ (問題意識)
- ・ どうしてそのテーマが大事か？ (自分にとって、会社にとって)

#### ②研究上の問い

研究上の問いを記した上で、下記の点についても記述してください

- ・ なぜその問いがわからないのか？
- ・ なぜ1年かけて問う必要があるか？
- ・ これまでの知見ではどこがまだわからないのか？ (Day4)

#### ③参考にする理論や概念

Day2 以降、自分が頼りにしたい理論や概念、フレームワーク、論文を探して、きちんと読んでまとめるようにしてください。その際に下記のことを参考にまとめてみてください。

- ・ その理論や概念はなぜこの問いにとって有効か？ (Day3)
- ・ 他に見込みがありそうな理論や概念は何か？ (Day3)
- ・ 参考にしたい理論や概念では自分の課題に関連してどのようなことが言われているのか (Day4)

#### ④研究計画・調査方法

Day3 では自分が考えている調査方法得られるデータを記してください。Day4 ではそれだけでなく、具体的な研究計画 (タイムスケジュール) も立てるようにしてください。

- ・ その調査方法はなぜこの問い、研究にとって有効か？
- ・ そこでどんなデータを得ようと思うか、そのデータがあるとどうして問いに答えられるのか
- ・ データの入手可能性はどうか？ (Day4)
- ・ 具体的にどのような手順、予定でデータを手に入れるのか (Day4)

#### ⑤予想される結論 (仮の答え)

下記の点を考えて、予想される結論を記してください。大事なのは答えが合っているかではなく、その視点です。また出来る限り、奇抜に (ただしある程度)

合理性をもって) 考えてみてください。

- ・どんな答え（結論）をイメージしているか？
- ・その答え（結論）は問いに対応しているか？
- ・その結論は①において意味ある結論か？

⑥次回の発表までの予定

⑦引用文献リスト